

令和 6 年度 意見の取りまとめ

1. 学生募集・確保について強みを生かして PR していく必要があるのではないか

回答

①今年度より入学者確保に向け、指定校推薦や AO 入試を導入実施。一般選抜の申し込み状況(他校との重複受験等も考え)から追加試験を実施し現在 45 名の学生確保の状況である。次年度も、試験回数を増やし科目変更を図り、学生確保に向けてガイダンス等含めて一層努力していく。

②スクールガイドの充実

本校の強みや各学年での学びをイラスト等を用いてわかりやすく表現し、学生に興味を持ってもらえるように変更した。

③先輩たちの活躍を HP に載せ発信したり、学内に掲載している。

今後は、在校生に卒業した高等学校に訪問し、学校の様子を伝えてもらうことも検討している。

④国家試験の合格率が学生確保につながる。

今年度より 1 年次から外部の国試対策講座を導入。学習支援担当教員として学生個々に教員を割り当て、学生の学習習慣を身につけることへも力を入れている。学生の主体性に期待したいと同時に、入学した学生をしっかり育てていくことが責務と考え取り組んでいる。

令和 6 年度の国家試験合格率は 100%であった。

次年度は、国家試験対策として新たにシステム講座を導入する。

2. 看護の魅力発信方法の充実を図る必要があるのではないか

回答

①看護の魅力発信のために高校生だけではなく、小中学生などの職場体験等を通して看護師の仕事に興味を持ってもらえるように体験も含め広報活動を実施している。

②7 月に市内の街中広場でキッツボランティアに参加し、低年齢層また保護者に看護体験を踏まえて看護の魅力を発信し約 100 名の参加があった。今後もこのような機会を増やしていきたい

③11 月に公開文化祭があり、328 名の方が来場し、看護体験・模擬授業・学生の様子などを見ていただき本校の周知を図ることができた。

④看護職は、人を対象とする尊い職であり、将来的にも経済的に安定しており、資格は一生ものである。資格の価値や職業の強みとしてエッセンシャルワーカーということを継続して発信したい。

3.今年入学生確保が困難だったことで経済的に大変ではないか。今後は協力する企業や病院など確保していく必要があるのではないか

回答

現在病院も含めて、市町村、各種団体、一般企業にも本校の理解と寄付のお願いはしている。今後さらなる努力が必要と考える。